

評価委員会による二次評価

東京都立産業貿易センター台東館

項目	評価内容
二次評価	A
管理状況	・プロジェクトチームによるデジタル化箇所の洗い出し、基幹システムの機能付加・クラウド化を行った。また、利用者アンケートをWebフォームに完全移行し、回収率が向上した。 ・ユニバーサルコミュニケーション機器を新たに導入するなどバリアフリー対応のさらなる充実を図った。
事業効果	・積極的な広報等による利用促進への取り組みを継続し、利用料金収入・稼働率とも令和6年度より改善した。また、利用者アンケートによる満足度で高い評価を得た。 ・地元イベントへの参加によるPRや業界紙等への広告掲載により、新規催事の誘致を強化した。
その他	

評価委員会による二次評価

東京都立産業貿易センター浜松町館

項目	評価内容
二次評価	A
管理状況	・一時帰宅困難者受入等の全館訓練を本社・台東館職員も参加のうえ実施し、防災意識の向上と安全性の確保に引き続き努めた。 ・プロジェクトチームによるデジタル化箇所の洗い出し、基幹システムの機能付加・クラウド化を中心となって行った。
事業効果	・展示室・会議室の稼働率、利用料金収入、中小企業利用率について、計画値を上回る実績を達成した。また、利用者アンケートによる満足度で高い評価を得た。 ・イベント会社、装飾会社への営業活動の強化や、比較的準備期間が短い利用者への空室利用促進を行った。
その他	

評価委員会による二次評価

東京都立多摩産業交流センター(東京たま未来メッセ)

項目	評価内容
二次評価	A
管理状況	・多摩地域の市町村、商工会議所及び商工会並びに山梨県、神奈川県及び埼玉県の学術機関等との広域的なネットワークの構築を図るとともに、地域における産業交流及び産学連携の促進に努めた。
事業効果	・展示室・会議室の稼働率、利用料金収入について、計画値を上回る実績を達成した。また、利用者アンケートによる満足度で高い評価を得た。 ・学術機関の出展を中心とした「たま未来連携Expo2025」を開催し、中小企業を中心とした産学連携を推進した。また、「たまサポーター制度」の開始に伴い、「Tama Cross Hub」のサイトを開設し、多摩地域の産学官連携に係る情報発信を開始した。
その他	

東京都しごとセンター指定管理者評価委員会による二次評価

- 1 評価事業 令和7年度東京都しごとセンター事業
- 2 指定管理者 公益財団法人東京しごと財団
- 3 評価内容等
 - 評価内容
 - ・ 二次評価
 - ・ 管理状況
 - ・ 事業効果
 - ・ その他
 - 評価基準 4段階
 - ・ 「S」：管理運営が優良であり、特筆すべき実績
 ・ 成果が認められた施設
 - ・ 「A」：管理運営が良好であり、管理運営に係る
 様々な点で優れた取組が認められた施設
 - ・ 「B」：管理運営が良好であった施設
 - ・ 「C」：管理運営の一部において良好ではない点
 が認められた施設

4 評価結果

項 目	評 価 内 容
二次評価	A
管理状況	当該施設の管理業務を的確に把握し、創意工夫により適切に維持している。
事業効果	財団の就業促進に関するノウハウやネットワークを活用するとともに、事業計画に示した取組を適切に実施している。
そ の 他	利用者サービスの質の向上や利用促進に向けた取組として、関係機関との連携も積極的に行い、業務改善や広報・PRに努めている。